

第 6 回  
大学情報・機関調査研究集会  
論文集

平成 29 年 8 月 19 日～20 日

東京都千代田区 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）東京事務所

Proceedings of the Sixth Meeting on Japanese Institutional Research

19<sup>th</sup>, 20<sup>th</sup> August 2017

Tokyo Office of Japan Agency for Marine-earth Science and Technology, Tokyo, Japan

8/19

10:00-10:20 MJIR オープニング

10:20-11:20 MJIR-1 評価 (60 分, 3 件×20 分)

1. 日本の国立大学における経営計画の課題と IR による支援のあり方について—グローバル化に関する中期計画を中心に……………8  
大石 哲也 (東京工業大学), 高田 英一 (神戸大学), 桑野 典子 (九州大学), 関隆宏 (新潟大学), 森 雅生 (東京工業大学), 関口 正司 (九州大学)
2. IR が目指すべきもう一つの仕事 — ベンチマークプラットフォームとしての IR データ形式の標準化 —……………14  
森 雅生 (東京工業大学), 小野寺 理香 (東京工業大学), 大石 哲也 (東京工業大学)
3. 公的集計データを用いた大学間比較ことはじめ—新潟大学の事例から—……………20  
関 隆宏 (新潟大学経営戦略本部評価センター)

11:30-12:10 MJIR-2 分析方法・システム (40 分, 2 件×20 分)

4. 「大学基本情報」の BI ツール利用の可能性と課題—複合的統計表のデータベース化とデータ解析に向けて……………26  
船守 美穂 (国立情報学研究所), 中鉢 直宏 (帝京大学)
5. ステークホルダーに応じた IR 情報提供システムの開発……………32  
劉 沙紀 (九州大学)

13:30-14:30 MJIR-3 評価・管理 (60 分, 3 件×20 分)

6. 指摘事項から見る機関別認証評価における評価情報—学修成果を中心に—……………36  
高森 智嗣 (福島大学)
7. 教学 IR における予測モデル活用の枠組み……………42  
近藤 伸彦 (首都大学東京), 松田 岳士 (首都大学東京)
8. 分析機器共用実績データを用いた長期的視点に基づくデータマネジメントの試行…48  
阿部 真育 (北海道大学 URA ステーション / グローバルファシリティセンター), 江端 新吾 (北海道大学 グローバルファシリティセンター / URA ステーション), 網塚 浩 (北海道大学 グローバルファシリティセンター), 上原 広充 (北海道大学 URA ステーション / グローバルファシリティセンター), 田島 さとみ (北海道大学 グローバルファシリティセンター), 吉沢 友和 (北海道大学 グローバルファシリティセンター)

- 14:40-15:40                    MJIR-4 EM (60分, 3件×20分)
9. 大学からの中途退学に関する日本の研究は蓄積・統合されているか：2015年までの文献を用いた検証……………54  
橋本 智也 (四天王寺大学 IR・戦略統合センター)
10. EMIR における退学の予測可能性について……………60  
高松 邦彦 (神戸常盤大学), 村上 勝彦 (東京工科大学), 鷹尾 和敬 (神戸常盤大学), 旭 潤一郎 (神戸常盤大学), 桐村 豪文 (神戸常盤大学), 伴仲 謙欣 (神戸常盤大学), 野田 育宏 (神戸常盤大学), 光成 研一郎 (神戸常盤大学、京都大学), 中村 忠司 (神戸常盤大学), 中田 康夫 (神戸常盤大学)
11. AO 入試に学力検査は必要か ～入試方法と退学率の分析から～……………66  
田尻 慎太郎 (横浜商科大学)
- 15:55-17:30                    MJIR-WS1 (95分)
- IR 業務を楽しく取り組むためには?パターン・ランゲージの手法から考える  
杉原亨 (関東学院大学), 本田卓也 (関東学院大学)

8/20

- 10:00-11:00                    **MJIR-5 管理・研究 (60 分, 3 件×20 分)**
12. 大学資料保存施設データの可視化……………72  
    戎 子卿 (東京学芸大学大学史資料室)
13. 連合農学大学院における博士課程留学生受入れ状況分析……………78  
    金川 久美子 (九州大学), 鈴木 孝彦 (九州大学), 中藤 哲也 (九州大学), 廣川  
    佐千男 (九州大学)
14. アメリカ研究大学における大学院博士課程のプロフィール……………84  
    相原 総一郎 (芝浦工業大学)
- 11:10-11:50                    **MJIR-6 FD・教学アセスメント (40 分, 2 件×20 分)**
15. FD・IR・自己点検委員会における IR 組織と FD 組織統合の取り組み……………90  
    白鳥 成彦 (嘉悦大学)
16. 学生の入学時におけるコンピテンシーと 1 年次英語能力試験結果の変容及び GPA に関  
    する分析……………96  
    石井 雅章 (神田外語大学)
- 13:30-14:30                    **MJIR-7 学生調査 1 (60 分, 3 件×20 分)**
17. ALCS 学修行動調査の結果から見えてきたこと……………100  
    半田 智久 (お茶の水女子大学)
18. 教育場面における自由意志信念の効果—実習後の大学生を対象とした実証的検討—  
    ……………106  
    渡辺 匠 (北海道教育大学), 櫻井 良祐 (北海道教育大学), 樋口 収 (明治大学),  
    半澤 礼之 (北海道教育大学), 蛭田 眞一 (北海道教育大学)
19. やり抜く力が学びを促す—Grit が学業達成に与える影響—……………112  
    櫻井 良祐 (北海道教育大学), 渡辺 匠 (北海道教育大学), 樋口 収 (明治大学),  
    半澤 礼之 (北海道教育大学), 蛭田 眞一 (北海道教育大学)
- 14:40-15:40                    **MJIR-8 学生調査 2 (60 分, 3 件×20 分)**
20. 学生の意見から探るリサーチ・クエスチョン (RQ) —福井県大学間連携事業(Fレック  
    ス)における教学 IR から—……………118  
    徳野 淳子 (福井県立大学)
21. 医学教育におけるアウトカム基盤型教育と質保証……………124  
    内藤 隆宏 (筑波大学)
22. 教育実習生の学習意欲、ソーシャルスキル、メタ認知の経年変化と教育実習前検定の  
    効果 — 教育実習前 CBT 教育実習前支援アンケートを用いた検討 —……………128  
    林 美都子 (北海道教育大学), 半澤 礼之 (北海道教育大学), 蛭田 眞一 (北海  
    道教育大学), 松橋 博美 (北海道教育大学), 渡辺 匠 (教員養成開発連携センタ  
    ー特任センター), 櫻井 良祐 (教員養成開発連携センター特任センター)

## はじめに

大学情報・機関調査研究会（MJIR：Meeting on Japanese Institutional Research）は、6回目を迎えました。

大学経営や高等教育に関して課題が山積しているなか、IRへの関心は高まる一方であり、多くの大学は教学・研究・財務経営に関する様々なIRに関する取組みを実施しております。これに伴い大学内でIRを担当する実務者は教員・職員共に増加しており、担当者間でのネットワークの構築や情報交換などが活発に行われております。このような状況で、MJIRは実務的なアプローチと学術的な視点、国際的展開などを融合した研究集会として地道に実践してきた結果、様々な関係者（実務家・研究者・企業関係者など）から多くの関心が寄せられてきております。

年々投稿数（昨年度16件）が増加しており、今年度は過去最大（22件）となりました。発表内容は評価・管理、分析方法・システム、EM（enrollment management）、研究、教学・学生調査など多岐に渡っており、いずれも実践的かつ意欲的な内容となっております。

また、ワークショップでは、建築やソフトウェアの領域で派生した課題解決手法（パターン・ランゲージ）によって、“IR業務”それ自体を再構築していく取組みを行っていきます。参加者同士の知見や意見の共有により、新しい示唆が生まれるのではないかと期待しております。懇親会では、実務者ならではの“本音”での交流を行うことで、“暗黙知”の共有を促進できれば幸いです。

尚、本年度は国立研究開発法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC）東京事務所で研究集会を開催することとなりました。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

平成29年8月19日  
大学情報・機関調査研究会運営幹事会一同

平成 29 年 8 月 19・20 日  
(国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 東京事務所)

## 平成 29 年度研究集会運営委員会

### 運営幹事

杉原 亨（関東学院大学）代表幹事、H29 年度研究集会主幹

杉森 公一（金沢大学）H29 年度研究集会副主幹

高田 英一（神戸大学）

船守 美穂（国立情報学研究所）

島村 道代（海洋研究開発機構）

田尻 慎太郎（横浜商科大学）

### 編集・企画幹事

森 雅生（東京工業大学）

### 事務局長

大石 哲也（東京工業大学）

ウェブ <http://mjir.info/>

連絡先 [contact@mjir.info](mailto:contact@mjir.info)